

マンニト食塩寒天培地*For microbiological control only*Mannitol salt agar
ブドウ球菌の選択分離

42080	試験管培地	20本
41606	ボトル培地	6本(200mL)
43311	平板培地	20枚(90mm)
51053	粉末培地	500g

保管方法

ボトル培地 2-25℃
 試験管培地 2-25℃
 平板培地 2-8℃
 粉末培地 2-30℃

組成(g/L)

ビーフェキス*	1g
カゼインおよび肉ペプトン*	10g
塩化ナトリウム	75g
D-マンニトール	10g
寒天	15g
フェノールレッド	25mg
pH7.4	

*動物由来原料

原理

ブドウ球菌分離用選択培地です。高濃度の塩化ナトリウムを含有しているため、ほとんどの微生物の発育を阻害します。この培地はアメリカ薬局方 XXIII (1995) に準拠しています。

粉末培地の調整法

- 本培地 111g に精製水 1L を加えます。
- 攪拌しながらゆっくり加熱し、溶解させます。
- 1-2 分間沸騰させます。
- 分注し、オートクレーブで 120℃、15 分間滅菌します。

使用法

塩化ナトリウムによる生育阻害活性により、多量の検体をプレート上に接種することができます。24-48 時間、37℃で培養します。
マンニトールの醗酵はフェノールレッドの色の変化によって判別できます。

判定

- マンニトール発酵性 *Staphylococcus aureus* のコロニーは大きく、周囲に黄色環が観察されます。
- *Staphylococcus epidermidis* のコロニーは通常小さく、周囲に赤色あるいは紫色環が観察されます。

留意事項

マンニトール発酵性は鑑別の方向付けなので、必ずコアグラ-ゼテストを行って下さい。

参考文献

1. Chapman G. H. - The Significance of Sodium Chloride in Studies of Staphylococci - J. Bact., 1945, 50, 201-203.
2. Recommended Method for the Microbiological Examination of Foods. A.P.H.A Inc. New York 1958.
3. Standard Methods for examination of Dairy Products. Eleventh edition A.P.H.A. Inc. New York 1960.
4. USP XXIII(1995).

廃棄処理

起こりうる危険を適切に考慮の上、使用者の責任の元、廃棄産物や流出産物はそれぞれの危害毒性や度合いを考慮し、地域の適切な規制に従って廃棄して下さい。

(問い合わせ先)

製品関連

バイオメリュー・ジャパン株式会社

臨床(病院、臨床検査センターなど) TEL: 0120-265-034

産業(企業、保健所など) TEL: 0120-022-328

注文・納期・在庫関連

バイオメリュー・ジャパン株式会社

TEL: 03-6834-2666(代表)

*本添付文書は、下記 Web サイトからダウンロードできます。
<http://www.biomerieux-jp.net/>

バイオメリュー・ジャパン株式会社

〒107-0052 東京都港区赤坂二丁目 17 番 7 号赤坂溜池タワー2 階

Tel: 03-6834-2666 / Fax: 03-6834-2667

<http://www.biomerieux.co.jp>**bioMérieux SA**

376 Chemin de l'Orme
 69280 Marcy-l'Etoile/France
 Tel.33(0)4 78 87 20 00 /
 Fax33(0)4 78 87 20 90
<http://www.biomerieux.com>

**BIOMÉRIEUX**